

ミえベジ 便り

No. 6

定期的にミえベジの
安全・安心なお米・野菜の
旬の情報をお届け



あきたこまち

田植えから約70日が経過した津留の圃場の様子です。ここは「あきたこまち」を植えた場所で、成長が他の圃場よりも進んでいます。幼穂形成(ようすいけいせい)がほぼ終了し、出穂(しゅっすい)期に入っています。幼穂とは、表面に出てくる穂になる前の状態のことを言います。(写真参考)その幼穂形成期が終了すると出穂期に移行します。出穂とは、穂が4~5割(約半数の茎)出穂した時期のことです。この幼穂形成期と出穂期の間は稲の成長において最も水分を必要とする時期です。この時期にしっかりと水分を与えることで登熟できるようになっていきます。

三重県産あきたこまちは三重県の温暖な気候により収穫が早いことが特徴です。早場米としてだけでなくその味も美味であると有名なお米です。あきたこまちはお盆前の8月の初旬を予定しています。

中干しとは…?

稲の成長において重要な役割のひとつが“中干し”といわれる作業です。中干しとは、稲の成長段階の途中で田んぼを一度干すことです。そうすることで、稲の根張りが一段と良くなります。中干しで一番気を付けることは…「幼穂ができる少し前に行くこと」です！成長の目安としては稲の株数が20本程度、長さが50~60cmの時期です。この中干しを適期に行うことで品質の高いお米の生産が可能になります。私たちは品質向上により高品質米の安定安定供給を目指しています。



中干し



契約栽培加工用トマト

本格的な加工用トマトの収穫が間近となってきました。収穫は朝早くから行う予定です。

収穫してます

先月の6月から契約栽培のばれいしよの収穫がスタートしました。7月からは他の部署や工場の方に協力してもらい、多くの人の協力を得ながら収穫作業を行っています。



mie-vege Blog QR code